

令和5年度

公益社団法人 伊勢市観光協会

第1回 総会

日時 令和5年6月16日(金)午後2時

場所 伊勢商工会議所 5階 大ホール

日 時 令和5年6月16日(金)
午後2時より
場 所 伊勢商工会議所
5F 大ホール

- 1 開 会
会長挨拶
来賓挨拶
- 2 議長選出
- 3 定足数の報告
- 4 議事録署名人の選任
- 5 議 事
議案第1号 令和4年度事業報告(案)並びに収支決算(案)
の承認に関する件

議案第2号 役員改選について(案)の承認に関する件

議案第3号 定款の改定について(案)の承認に関する件
- 6 報告事項
- 7 その他
- 8 閉 会
- 9 総会終了後、引き続き
各部会による令和4年度事業の報告
 - ・情報発信部会
 - ・中期政策検討部会
 - ・観光交流伊勢会議実行委員会
 - ・おもてなし行事部会
 - ・青年部

公益社団法人伊勢市観光協会 令和4年度事業報告

令和元年に中国武漢で発症が確認された新型コロナウイルス(COVID-19)は、令和4年度に至るまで猛威を振るってきました。年度半ばには感染拡大も落ち着き、病床使用率や死亡率が低くなってきたことから、政府においても感染症法上の新型インフルエンザ等感染症に該当しないものとし、その下の分類である5類感染症に位置づける方向性を決め、令和5年3月には、同年5月に引き下げるという決定がなされました。これにより表面的にはポストコロナ期への移行が進む形となりました。

観光業界におきましても、政府の全国旅行支援が令和4年10月より始まり、コロナ禍で耐え忍んだ3年間を取り戻すかの様に旅行熱が高まり、年度後半は伊勢市においても賑わいを取り戻しました。しかしながら、コロナ禍前の状態にまで回復したわけではなく、全体的な回復にはまだまだ時間が必要だと考えております。さらに、コロナ禍で変貌を遂げてきた社会のスタンダードに関しても、コロナ禍以前のものに戻るためにはかなりの時間を要すると思われ、これは観光業に対しても引き続き大きく影響を及ぼすものと考えます。

当会におきましても、令和4年度は大きな変革の時となりました。コロナ禍における緊急事態の施策中心の事業体系から、来るべき次期式年遷宮へ向け中期展望を見据えた事業の展開と変革へと舵を切りました。地域の観光を「稼げる観光地」に昇華させていくための基幹となる登録DMOの取得、伊勢市から受託している観光案内所事業においてはDX化を図り、遠隔機器を活用することで、次期遷宮のお客様対応を見据え「場所に縛られない案内所」のシステムを築いての実証、収益性の改善を図るために、手荷物預り事業においても根本的な運営体制の変更を行いました。さらに、継続するコロナ禍において実施できなかった事業も多い中、回復基調であった年度後半においては、札幌での観光物産展や青年部による東京大神宮での観光PRキャラバンなど、その時点で出来うる事業を実施しました。

令和4年度は、目まぐるしく変貌する社会情勢の中、当会も大きな舵をきった年度となりました。展望は不確定ではありますが、情勢は確実に「ポストコロナ」に向っております。当会としましても、押し寄せる変化の波に柔軟かつ積極的に取り組んでまいります。

なお、具体的な事業内容は次ページより。

<公益目的事業—旅客誘致事業> ※見出し横の事業費は経常費用を記載しております

1. 広報宣伝事業(情報発信部会、青年部、事務局)

① インターネットによる情報の発信(IT委員会、事務局) 1,893千円

令和3年4月に刷新した伊勢市との共同観光情報発信ホームページは、引き続きスマートフォンに主軸を置きながら、「現地」ならではの情報発信をめざしています。令和4年度は、レンタサイクル特集や伊勢の御朱印帳特集など、特集記事の作成や新着情報の発信等を行い、フォトライブラリーの申請不要素材集を構築しました。日本語版ホームページのページビュー数は、2,330,509(前年度 1,189,398:前年度対比 196%)、セッション数は 1,060,966(前年度 491,095:前年度対比 216%)と好調に推移しました。ホームページの英語表記ページも、セッション数が前年度対比 308%と大幅に伸びております。また、最近では旅行の情報収集を SNS で完結させる傾向にあるため、SNS での情報発信を強化しました。

伊勢市観光協会ホームページ <https://ise-kanko.jp/>

◇ ホームページ閲覧数

	ページビュー数	セッション数	ページビュー数 (英語)	セッション数 (英語)
令和4年度	2,330,509	1,060,966	11,623	6,370
令和3年度	1,189,398	491,095	7,157	2,069
増減	1,141,111	569,871	4,466	4,301
対前年比	196%	216%	162%	308%

◇ フォロワー数

	Facebook	Twitter	Instagram	合計
令和4年度	3,194	4,979	4,959	13,132
令和3年度	2,647	4,393	2,874	9,914
増減	547	586	2,085	3,218
対前年比	121%	113%	173%	132%

② PRグッズ作製 396千円

イベント時の伊勢市観光 PR に使用するため、下記のグッズを作製しました。

・メモ帳	500冊	・1色ボールペン	500本
・ハンドタオル	500枚	・手提げ袋	400枚

③ 紙媒体による情報発信(パンフレット) 4,434千円

紙媒体として情報発信を担うパンフレットは、伊勢市と協働し観光パンフレット及び地図を作成し、観光案内所等で配布をしています。

来訪客数やインバウンド需要に回復の兆しが見えたため、日本語版パンフレットと共に、「伊勢～日本の源へ～」の英語版・繁体字版を増刷しました。

◇ パンフレット印刷について

No	事業パンフレット名	当初数量	最終数量	備考欄
1	ええじゃないかお伊勢さん	10,000	10,000	総合パンフレット
2	伊勢～日本の源へ～日本語版	20,000	20,000	総合パンフレット
3	伊勢～日本の源へ～外国語版	10,000	10,000	英語、繁体字 各 5,000 部
4	市内 Map(てくてく)	150,000	0	基本地図
5	二見まちあるき MAP	10,000	10,000	二見に特化した MAP
6	ランチガイド	10,000	10,000	ランチガイド

④ 伊勢観光大使及び伊勢観光御師(御師委員会) 117 千円

首都圏等における情報発信を円滑且つ効果的に進めていく為に、協会は伊勢観光大使・伊勢観光御師制度を設けており、下記の方々に委嘱しております。御師会議並びに伊勢観光振興交流会は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を考え、中止しました。

観光御師ネットワーク構築事業では、日本各地に伊勢との「繋ぎ役」を作り、全国に観光御師に次ぐ人材を確保し、ネットワークを構築することを目的としておりますが、コロナ禍による長期中断により、予定していた人材確保が難しくなるなど事業全体を再構築する必要が出てきており、新たな枠組みも視野にいれ協議を進めております。

◇ 伊勢観光大使並びに観光御師名簿

	所 属	役 職	氏 名
観 光 大 使		アスリート	野口 みずき 氏
	ファンタシウム	タレント	楠田 枝里子 氏
	トゥーフロント	女優	夏樹 陽子 氏
観 光 御 師	公益財団法人 日本交通公社 (株式会社ジェイティービー 元会長・元社長)	評議員	船山 龍二 氏
	株式会社共立メンテナンス (岡三興業株式会社 元代表取締役社長)	ホテル事業戦略本部 顧問	松本 久雄 氏
	株式会社びゅうトラベルサービス (日本観光振興協会 元理事長)	顧問	見並 陽一 氏
	人流・観光研究所 株式会社東麻布企画 (元加賀市長)	所長 社長	寺前 秀一 氏
	三井住友信託銀行株式会社	名誉顧問	村上 仁志 氏
	東勢会/瑞泉古酒の会 (セコム株式会社 元専務取締役)	会長	佐々木 信行 氏
	東海旅客鉄道株式会社	特別顧問	松本 正之 氏

⑤ 外国人観光客誘致事業(情報発信部会、インバウンド委員会、) 46 千円

(動画制作) 983 千円

伊勢志摩観光コンベンション機構の主導で東京において 2 月に開催された、ランドオペレーターとのインバウンド商談会に参加し、現在の動向と今後の展望を調査し、伊勢の魅力を発信しました。

また、伊勢のこころインバウンド情報発信事業として、コロナ禍が解消すると復活が予想されるインバウンドの方に、「なぜ日本人はみんな伊勢に行くのか」を伝え、日本人が行きたい場所としての伊勢を広報する際に活用する手段として、伊勢の動画を作成しました。動画の作成にたっては、「あなたの心の中の伊勢」を表す写真を募集し、写真家の宮澤正明氏を始めたくさんの著名人から貴重な写真を無償で提供していただきました。写真は日本語と英語で動画に編集、公開しています。

公開ホームページ <https://ise-kanko.jp/StDocs/ise-design/>

⑥ 観光 PR 事業(情報発信部会、青年部、事務局) 2,203 千円

各地へ出向き、伊勢の観光情報の発信と観光物産展による収益事業と情報発信を行いました。令和 4 度も新型コロナウイルス感染拡大防止の見地から、リモート等で打ち合わせから出店までを行うというスタイルの物産展「ISESHOP」を、10 月に横浜市のたまプラーザテラスにて開催しました。さらに、伊勢市からの依頼を受け、12 月には札幌市での PR イベントに物品販売協力を行いました。

青年部は、令和 5 年 3 月に東京大神宮で観光 PR と物産展を実施しました。

<たまプラーザテラス ISESHOP> 1,430 千円

- ・期間:令和 4 年 10 月 22 日(土) ~ 令和 4 年 10 月 30 日(日) 9 日間
- ・売り上げ:2,751,631 円(税別)
- ・場所:たまプラーザテラス ポケットコート(横浜市)
- ・連携事業者 株式会社東急モルズデベロップメント、株式会社インターコマース

<FM 北海道連携札幌 PR・物販イベント> 205 千円

- ・期間:令和 4 年 12 月 9 日(金) ~ 令和 4 年 12 月 11 日(日)
- ・売り上げ:2,328,000 円(税込み)
- ・場所:HTB(北海道テレビ)本社ビル 1F ロビー(on ちゃんテラス)
- ・連携事業者:伊勢市、北海道 FM、HTB

<東京大神宮観光 PR> 568 千円 ※詳細は青年部「観光 PR キャラバン」をご参照ください

- ・期間:令和 5 年 3 月 11 日(土) ~ 令和 5 年 3 月 12 日(日)
- ・売り上げ:656,360 円(税込み)
- ・場所:東京大神宮
- ・連携事業者:東京大神宮

⑦ 日本観光祈願祭及び観光交流伊勢会議

(観光交流伊勢会議実行委員会) 30 千円

9 月 9 日、第 55 回日本観光祈願祭を役員 7 名を含む 10 名の参列者により神宮(外宮)にて斎行し、観光産業の健全な発展と旅行の安全を祈願しました。今年度は役員のみでの開催とし、感染拡大の早期終息も併せて祈願しました。

なお、観光交流伊勢会議は中止しました。

⑧ EC 販路開拓事業(EC ポータルサイト構築事業、情報発信部会) 13,230 千円

伊勢市内の事業者がインターネット上での商売(EC)を開始、または拡大することを支援するために、伊勢市内の EC 開設事業者を網羅したポータルサイト「ISEONE」を構築しました。今回プロポーザルにおいて選定された株式会社日本デザインセンターは、ナショナルブランドのデザインも数多く手掛ける会社で、今回のデザインもシンプル且つ洗練された意匠となりました。

EC ポータルサイト <https://www.ise-one.jp/>

⑨ クリエイターズ・ワーケーション促進事業 0 千円(伊勢市負担)

令和 2 年度に実施したクリエイターズ・ワーケーション促進事業にて参加が決定していたもののまだ参加できていなかったクリエイターについて、40 組 50 名の受入を実施しました。(令和 2 年度からで合計 88 組 115 名のクリエイターを受入。)

2 誘致接遇事業

① 観光案内所事業(事務局) 34,050 千円

◇ 案内所実績表

	外宮前※	宇治山田駅※	伊勢市駅	宇治浦田※	二見浦	合計
令和4年度	32,709人	6,509人	46,382人	12,119人	17,434人	115,153人
(うち外国人)	(166人)	(37人)	(575人)	(36人)	(280人)	(1,094人)
令和3年度	28,673人	6,549人	30,113人	11,033人	9,225人	85,593人
(うち外国人)	(71人)	(18人)	(134人)	(14人)	(41人)	(278人)
対前年比	114%	99%	154%	110%	189%	135%
(うち外国人)	234%	206%	429%	257%	683%	394%

※外宮前・宇治山田・宇治浦田の各案内所は11月まで。

12月～3月は、外宮前・宇治山田・宇治浦田の遠隔案内機での案内数は、伊勢市駅にカウント。

案内所案内数と神宮参拝者数の割合

令和4年度は、来訪者数が持ち直す結果となりました。特に外国人観光客に関しては昨年度からかなり改善してきており、外貨獲得に向けて今後のインバウンド需要が期待されます。なお、神宮参拝者数と案内数の対比から、既存の案内形態による観光客の案内需要の低下が見られています。インターネットの普及による対面案内の需要の低下と、それに相反する対面であることの優位性を鑑み、伊勢市と協力してDXの推進を行い、「伊勢の観光案内を場所から解放する」ことに取り組みました。具体的には、令和4年12月1日から、旧伊勢市域の案内機能を伊勢市駅観光案内所に集約し、宇治山田・宇治浦田・外宮前に遠隔案内機を設置しました。これにより、外宮前観光案内所は伊勢市の遠隔案内所の位置づけとなり、観光協会のサービスを提供する外宮前観光サービスセンターとなりました。中心市街地から距離のある二見浦観光案内所にも遠隔案内機を設置し、伊勢市駅とつなぐことで、英語対応も可能としています。また、ホームページに掲載しているチャットボットにて、リアルタイムチャットも案内所職員が対応できるようにし、どこにいても観光案内の問い合わせが気軽にできるようにしました。

	5案内所 総計	神宮参拝者数	割合
H28年度	314,199	8,739,000	3.6%
H29年度	318,553	8,798,000	3.6%
H30年度	287,224	8,505,000	3.4%
H31年度 R1年度	212,340	9,729,000	2.2%
R2年度	86,809	5,538,000	1.6%
R3年度	85,593	3,827,000	2.2%
R4年度	115,153	6,037,000	1.9%

※神宮は暦年・概数

今後、遷宮に向けて、フレキシブルに案内機を移動・増設することで、TPOに合わせた案内機能を提供できるようにしていきます。

② 手荷物事業(事務局) 20,063 千円

来勢されるお客様への更なる便宜を図るために、伊勢市駅手荷物預り所と外宮前観光サービスセンターにおいて手荷物事業を実施しました。手荷物事業に付帯して伊勢市駅手荷物預り所建屋の管理(多目的トイレ、授乳室、休憩所など)、レンタサイクル・車椅子の貸出、簡単な観光案内などを行っております。

10 月には手荷物事業自体の見直しを行い、新たな運営体制で事業を実施しております。取扱量が減少していた宇治山田駅手荷物預り所は、体制変更に伴い 11 月末をもって閉鎖しました。

総取扱額は、伊勢市駅は 2,343 万円(前年度 835 万円)、宇治山田駅は 67 万円(前年度 52 万円)と大幅な増収となりました。全国旅行支援や伊勢志摩ジャンボキャンペーン等の実施時期に取扱件数が大幅に伸びました。

外宮前観光サービスセンターでは、外宮参拝者への便宜を図るため、手荷物の一時預かりを実施しております。収入額は 152 万円(前年度 73 万円)と増収となりました。

単位:個

◇ 手荷物預かり実績

	伊勢市駅 手荷物預かり所		宇治山田駅 手荷物預かり所		外宮前 観光サービス センター	合計
	預かり	配送	預かり	配送	預かりのみ	
令和4年度	30,322	8,995	523	366	5,090	45,296
令和3年度	10,331	3,611	375	394	2,458	17,169
増減	19,991	5,384	148	△28	2,632	28,127
対前年比	294%	249%	139%	93%	207%	264%

・Kintone を活用した手荷物預り受付システムの構築 3,270 千円

三重県の魅力的な観光地づくり補助金を取得し、(EV モビリティを活用した周遊企画「伊勢ぷちたび」造成とセットで)手荷物預かり・手荷物配送について kintone を活用した受付システムを構築しました。お客様が自身のスマートフォンで受付を済ませることが出来ることから、受付時のアナログな受付票をなくすことが出来、受付時間の短縮につながり、効率的にお客様を捌くことが出来るようになります。これにより利用者情報の属性等をデジタルデータとして蓄積可能となるため、将来的に様々なマーケティングに活用する予定です。

③ 「お伊勢さん観光ガイドの会」 96 千円

(お伊勢さん観光ガイドの会運営委員会、おもてなし行事部)

外宮前サービスセンターにおいて、神宮のガイド「お伊勢さん観光ガイドの会」が常駐し、日々観光客のご案内に努めています。現在の会員数は 57 名。

本年度のガイド件数は 1,833 件(前年度 851 件)と前年比約 215%、案内人数は 6,796 人(前年度 4,535 人)と大きく増加しました。

	案内件数	案内人数	件数 対前年比
令和4年度	1,833	6,796	215%
令和3年度	851	4,535	87%
令和2年度	978	4,380	26%
令和元年度	3,712	11,818	99%

今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、マスク着用や非接触型電子体温計による検温などを実施して、ガイドの安全とお客様へのおもてなしの両立を図りました。今後は予約のシステム化を行い、事務の効率化とお客様の利便性の両立を図っていきます。

④ レンタルサイクル事業(事務局、青年部) 1,080 千円

73 台の自転車(外宮前 12 台、宇治山田駅 6 台、伊勢市駅手荷物預り所 32 台、伊勢シーパラダイス 10 台、オレンジカフェウッド 13 台)を維持管理し、運用しました。(伊勢シーパラダイス及びオレンジカフェウッドは委託)

貸出件数は 4,424 台(外宮前観光センター1,089 台、宇治山田駅観光案内所 72 台、伊勢市駅 3,052 台、その他 211 台)となり、前年度 2,840 台から 156%となりました(レンタサイクル収益計 4,659,393 円)。収益増の要因は、全国旅行支援等による旅行者の増加と、電動自転車の利用者が増加したことです。更なる利用率向上を図るため、伊勢市と連携し旅行商品(JR ずらし旅等)へのコンテンツ提供を行いました。

12 月1日には、伊勢市観光案内所再編により、宇治山田駅観光案内所が閉鎖されリモート案内機での対応となったため、宇治山田駅でのレンタサイクルは11月末をもって終了いたしました。

◇ 【レンタサイクル利用者数表】

	外宮前観光サービスセンター	宇治山田駅観光案内所	伊勢市駅手荷物預り所	その他	計
令和4年度合計	1,089	72	3,052	211	4,424
令和3年度合計	808	87	1,720	225	2,840
増減	281	△15	1,332	△14	1,548
前年度対比	135%	83%	177%	94%	156%

※令和5年4月より、ヘルメット着用が努力義務となるため、その対応についても事前に協議して対策を進めております。

⑤ 御遷宮対策事業(おもてなし行事部、事務局)

伊勢御遷宮委員会の一員として、次回の神宮式年遷宮へ向けて様々な協議を進めました。令和4度は次世代継承を基軸に活動をしつつ、来るべき民俗行事に向け準備を始めました。紙札配布については、伊勢市観光協会会員店舗で取り組むなど、協力をしています。併せて、広報誌の発行や初穂曳など、伝統行事の継承を軸に民俗行事の遂行に協力をしました。

⑥ 公益社団法人伊勢志摩観光コンベンション機構への参画

・伊勢志摩学生団体誘致委員会(事務局)

伊勢志摩地区への学生団体旅行の誘致を行う委員会へ参画し、誘客の企画や PR、伊勢市での歓迎行事等に協力しました。

・伊勢志摩フィルムコミッション(事務局)

伊勢志摩地区でのテレビ取材や映画撮影等の誘致、撮影協力を行う組織に参画し、情報の共有、撮影への協力等を行ないました。

⑦ 伊勢商工会議所及び伊勢市との協力事業

・中心市街地活性化協議会への参画

・伊勢まちづくり会社への参画

・伊勢御遷宮委員会への参画

・その他

⑧ 各種大会の接遇(事務局) 175 千円

下記の各種大会に歓迎看板または四角塔の掲示を行いました。

・神宮奉納社会人野球大会

・伊勢神宮新穀感謝祭

・全日本大学駅伝大会

・全日本弓道大会(学生、社会人)

3 観光イベント事業

① 桜開花情報の発信(おもてなし行事部) 220 千円

市内の桜の開花情報の発信を行い、季節の花(菖蒲、梅、紅葉)の撮影をしました。

② 第 16 回観光交流伊勢会議及び第 55 回日本観光祈願祭

(観光交流伊勢会議実行委員会)

※詳しい内容は、1 広報宣伝事業 ⑦を参照してください。

③ 第 70 回伊勢神宮奉納全国花火大会 (おもてなし行事部)

新型コロナウイルス感染拡大を受け、開催は中止となりました。

④ 冬至の奉納(おもてなし行事部) 29 千円

神宮(内宮)へ 12 月 22 日(木)に雨天の中、会長、担当部長と事務局により、柚子と南瓜を奉納しました。

⑤ 年越餅つき行事・年越餅の贈呈(おもてなし行事部) 10 千円

新型コロナウイルス感染拡大を受け、行事の開催は中止しましたが、役員が餅を神宮(外宮)に奉納しました。

⑥ 「伊勢楽市」事業への協力(事務局、青年部)

秋の楽市が11月5日～6日に外宮前広場で開催されました。出店者と来訪者には感染対策を呼びかけ、会場には手指の消毒液を配置しました。
(春の楽市はコロナ禍により中止)

⑦ おもてなし講習会(事務局、おもてなし行事部) 0千円(観光庁負担)

おもてなし講習会として、「地域の観光人材のインバウンド対応能力強化研修(初級クラス)」を伊勢市と共催しました。市内事業者や市民の方19名が参加し、外国語対応のコツを学びました。

⑧ 先進地研修事業(親会、青年部) 386千円

「倉敷市のアフターコロナの観光施策とインバウンド誘客の手法とその成功例」をテーマに、親会・青年部合同で、10月25～26日に岡山県倉敷市での先進地研修視察を実施しました。親会9名、青年部11名、事務局1名が参加しました。古い町並みが保存されている美観地区では、倉敷市の観光部署の講義の後、同部署と意見交換を実施しました。日本初の私立西洋美術館である大原美術館では学芸員の方に説明を受け、その後、館内を見学しました。日本三名園の岡山後楽園にも立ち寄り、観光ガイドによる案内を受けました。各地の施策や対策を学び、来場者が何を求めて来ているかなどを学ぶ機会となり、今後の観光誘致に生かします。

⑨ 二見浦海水浴場 浜開き式(おもてなし行事部)

海水浴場東側への突堤工事を受け、開催は中止しました。

⑩ 二見浦ビーチ活性化事業

・「次期遷宮へ繋ぐ、社会動向に即した神宮参拝を提案する事業」8,000千円

二見エリアの活性化に向けて、観光庁「地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出事業」に応募し、「次期遷宮へ繋ぐ、社会動向に即した神宮参拝を提案する事業」として看板商品候補を作成し、1泊2日のモニターツアーを実施しました。

作成にあたっては、伊勢市、ジェイアール東海エージェンシーと座組を構成し、神宮及び二見興玉神社、二見町旅館組合、賓日館及び二見エリア各事業参加店舗の支援と協力を受けました。作成したコンテンツは①二見興玉神社での「夜の浜参宮」、②禊の地二見の塩、神宮(贅海神事)ゆかりの二見の貝等を使った「禊のお食事体験」、③電動アシスト自転車又はウォーキングによる二見浦の散策体験、④二見スイーツめぐり体験、⑤解説及び解説ブックつき神宮参拝の5つで、モニターからの忌憚ない貴重な意見をいただきました。モニターツアーにからめて伊勢を広報するため日本語と英語で作成したページはホームページのスペシャルコンテンツに掲載しています(下記URL)。

令和5年度にジェイアール東海のスマート EX 内で、5つの中からピックアップした商品をブラッシュアップし、販売する方向です。

<https://journal-one.net/jp/3210/>

・「二見周遊促進事業」 1,437 千円

二見の代表的名所である、夫婦岩及び二見興玉神社を軸とした体験・アクティビティコンテンツの開発を行い、「絆体験」事業としてじゃらんサイトでの販売を行いました。事業 PR 及び体験メニュー利用促進のため、クーポン発行、ランディングページ作成、ポスター・チラシの作成を行った他、絆体験証書を作成し、参加者に配付しました。また、絆体験実施店の連携を深めるため、事業者同士の相互体験会も開催しました。

・「チャージスポットを活用した二見周遊事業」 2,835 千円

伊勢市内の観光スポットにある店舗等にチャージスポット(Charge SPOT モバイルバッテリー自動貸出機、株式会社インフォリッチ)を設置し、エリアごとに新進気鋭のストーリーライターと人気イラストレーターがコラボレーションしたオリジナルストーリーを一編ずつ配信し、各エリアを巡ることでストーリーの完結と記念品(スマートフォン用オリジナルイラスト壁紙)がもらえる仕組みを構築し、周遊促進を図りました。加えて、LINE 公式アカウントを作成し、位置情報を活用した周辺のオススメスポット紹介を行いました。実施期間 令和 4 年 12 月 15 日 ~ 令和 5 年 2 月 28 日

モバイルバッテリーの貸出利用数は、1,880 件 となりました。

実績算出期間 令和 4 年 4 月 1 日 ~ 令和 5 年 3 月 31 日

⑪ EV モビリティを活用した周遊企画「伊勢ぶちたび」造成 8,800 千円

(長期滞在・周遊向上促進事業)

三重県の魅力的な観光地づくり補助金を取得し(Kintone を活用した手荷物預り受付システムの構築とセットで)、EV モビリティを活用した新たな伊勢市内周遊企画を、他地域で成功事例のある民間企業と連携して造成及び販売・プロモーションを行いました。株式会社たびぞうが提供する、EV モビリティ(EV トゥクトゥク 2 台及び EV ミニバイク 8 台)を使った滞在・周遊ルートの策定と提供を行っています。大学生等と地域資源発掘に向けたワークショップなども行い、魅力あるコースを策定しました。

11 月 14 日にリリースを行い、利用者件数は 11 月末まで 26 件、のべ 72 名参加(BIKE 8 名、トゥクトゥク 64 名)、12 月 1 日~12 月 12 日まで 13 件、のべ 32 名(BIKE 4 名、トゥクトゥク 28 名)となりました。この取り組みにより伊勢市内の新たな移動手段及び体験メニューを造成することが出来ました。また、環境に優しい電動モビリティを活用することにより SDGs を意識した観光モデルとしても確立することが出来ました。

4 協会が協力した諸行事 ※その他誘客事業に含む

本年度、下記行事に後援及び協賛した。

- ・倭姫宮秋の例大祭
- ・おかげ横丁夏まちまつり
- ・さるめ書道展
- ・初穂曳
- ・松尾観音寺初午大祭
- ・来る福招き猫まつり
- ・おひなさまめぐり in 二見
- ・伊勢神宮奉納書道展
- ・その他

5 新型コロナウイルス対策事業(伊勢市協働事業)

① 観光地感染防止対策事業 1,848 千円

・デジタルサイネージ の混雑状況配信

株式会社バカンの混雑状況配信システムを、伊勢市駅・宇治山田駅・宇治浦田観光案内所・二見浦観光案内所・手荷物預り所に設置のデジタルサイネージで配信しました。デジタルサイネージは非接触で閲覧でき、混雑状況を把握した観光地周遊に貢献しました。

・熱中症対策事業 1,075 千円

熱中症対策として、観光客に一時的に涼を取ってもらうためのミストブースを設置し、管理運営を行いました。

設置期間 令和4年7月21日(木) ~ 令和4年9月15日(木)

設置場所 外宮前サービスセンター、伊勢市駅前広場

・伊勢クリーン大作戦 318 千円

観光客受入のおもてなしの一環として、伊勢市内主要観光目的地の沿道等に、誰でも利用出来るクリーン設備(手指消毒液設備)を、各事業所と連携して設置しました。

設置期間 令和4年4月1日(金) ~ 令和5年3月31日(金)迄

設置台数 伊勢市内各所 66 か所設置

◆ イベントへの貸し出し実績

- ・春祭り 2台(令和4年4月1日~4月10日)
- ・伊勢楽市 2台(令和4年11月5日~11月6日)
- ・松尾観音寺初午大祭 2台(令和5年2月28日~3月1日)

6 青年部活動 ※青年部事業報告書より

◇ 伊勢PR委員会

◆ 観光PRキャラバン・物販事業

・今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策に努めながら、4年ぶりに観光PRキャラバンを東京大神宮にて開催しました。イベントでは、伊勢の物産品販売(伊勢うどん、伊勢のお菓子等)、伊勢市観光PRキャラクターグリーティング(伊勢まいりんくん)、観光PRブース(パンフレット配布、アンケート等)を行い、多くの方に伊勢の観光PRを行いました。伊勢市観光協会と東京大神宮が共に開催に向けPRを行い、天候にも恵まれたおかげで多くの方が訪れ、物産品売上 656,360 円と過去最高の数字を残すことが出来ました。和菓子関係が早い段階で完売したことから販売数量の見直しは必要と感じました。引き続き魅力ある物産品販売に努めていきたいと思っております。令和5年度も、東京大神宮、伊勢市と協働し、東京大神宮から伊勢市への誘客に繋がるイベントにしていきます。

◆ SNS 情報発信事業 423 千円

・「伊勢フォトグランプリ 4」の開催

伊勢市の情報発信拡大を目的として、伊勢市を訪れた観光客や地元民など、プロ・アマ問わず「Instagram」を通じて伊勢市内で撮影した画像を発信していただくことにより、伊勢市の魅力を様々な視点から多くの人に知っていただくきっかけとなるように開催しました。

当イベントのインスタグラム公式アカウント【@isephoto_grandprix】をフォローし、撮影した写真に、【#いせフォト 4】のハッシュタグをつけて投稿していただきました。1,918 名のフォロワー(参加者)に投稿いただき約 1,200 枚の作品がアップされました。昨今、類似イベントが全国各地で開催されている為に投稿作品数は減少致しましたが、新規参加者と継続参加者により様々な切取られた伊勢の魅力が発信できたと感じております。

今年度は、素敵な 42 作品を投稿いただいた受賞者の方へ景品として 33 社の協賛企業様からいただいた協賛品贈呈、特に素敵な作品 30 枚に写真パネル加工を施しました。写真パネル加工を施した作品は、写真展開催やPRキャラバン時に展示するなど様々な活用が出来ます。写真展の開催は、参加者の意識向上に繋がり、受賞者の方々が伊勢へ再訪するきっかけにもなるものと期待しています。

◆ レンタサイクル PR 活動事業

レンタサイクル『伊勢 MY りん』を利用したエコツーリズムに繋がる PR 活動を行いました。

◇ 伊勢のまち発展委員会

今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、「ナイトタイムエコノミー推進事業」は自粛しました。下記の事業報告の内容にある通り、総務系の事業を中心に活動しました。

◆ 事業報告

- ・青年部手帳の作成、5月に100部作成した。
- ・5月通常総会の運営 総会資料の作成、資料の配布手配を実施
- ・「ええじゃないか伊勢」の作成(親会と共同)
親会用紙面、青年部用紙面それぞれ600部作成し、郵送にて配布
- ・研修視察 岡山県倉敷市へ訪問。(親会と共同)
- ・新年交流会 1月31日 親会理事、市役所参加のもと実施
- ・3月通常総会の運営 総会資料の作成、資料の配布手配を実施
- ・卒業式の実施 3月通常総会と併せて、卒業式を実施
- ・ナイトタイムエコノミー推進事業 自粛のため、実施せず
- ・青年部ホームページの管理
- ・名簿の管理 新入会員の名簿の追加作業
- ・グループウェアの管理 エンジェルタッチの運用、リモート会議室 Zoomの活用

◇ Rise Up 特別委員会

◆ 活動報告

令和4年度、Rise Up 特別委員会では、前年度に引き続き大きく減った会員数を回復するため、会員の拡大事業を委員長、副委員長を中心に全会員で行いました。

- ・オープン例会の開催。
8月:オープン例会は中止(8月例会は開催。)
2月:伊勢 PR 委員会と合同にてオープン例会開催。
- ・会員拡大
令和4年度新規入会者4名。申込書提出者2名。
- ・オリエンテーションの開催。
新規入会者4名のオリエンテーションを開催した。

◇ マスコットキャラクター事業 28千円

令和4年度は、伊勢市でのイベントに4回、東京(東京大神宮観光PR)で1回の活動を行いました。地域の郵便局や伊勢市のイベントに、イラストの貸し出しも行いました。

＜収益目的事業—賃貸事業＞ 1,612 千円

- ・ 伊勢市駅前ビル 鉄筋 4 階建て
- ・ 風餐亭 1F 研修室

伊勢市駅前ビルを賃貸物件として運用、風餐亭1F 研修室は貸し会議室として運用しています。なお、伊勢市駅前ビル及び外宮前観光サービスセンターのビルについては老朽化が目立つことから、中期政策検討部会にて今後の方針を検討し、解体に向けて積立を行うこと、以後の活用については中心市街地開発と足並みをそろえながら検討していくこととしました。積立額としては年額200万円を積み立てることとし、積立の根拠となる規程を整備しました。

＜収益目的事業—物品販売事業＞ 18,275 千円

今年度は、コロナ禍における事業所支援のために開設した EC サイトのリニューアルを行いました。

伊勢市ふるさと応援寄附金事業に関しては、返礼品の受付発送業務だけでなく、事業の PR、パンフレットの作成及び新たな返礼品の開拓業務等を行いました。令和 4 年度の実績として、寄付件数が約 12,522 件(前年 10,268 件)、寄附額が 456,133,380 円(前年 431,345,484 円)となり、前年度実績を上回りました。主な要因として、ポータルサイト「さとふる」を追加したことが考えられます。

＜収益目的事業—その他(会員互助事業)＞ 462 千円

広報誌「ええじゃないか伊勢」の発行(情報発信部会、総務委員会、青年部) 情報発信部会及び青年部総務委員会の共同制作の会員広報誌として、第 39 号を 6 月 20 日に 600 部発行しました。

＜法人事業—中期政策検討部会＞ ※法人事業(会計)に含む

本部会では、協会運営に関する重要事項や、コンプライアンス対応を協議及び実施しました。本年度は引き続き収益改善にむけて、手荷物預り所の運営改革を行い、既存収益事業の改善を目指していきます。DMO としては、令和 5 年 3 月 31 日付で、候補 DMO から登録 DMO へと登録されました。今後、伊勢地域の観光の中核組織として成長できるように、伊勢市観光誘客課・伊勢市観光振興課・伊勢商工会議所・伊勢まちづくり株式会社とともに、活動を進めます。

<報告事項>

<令和2年度及び令和3年度に発生した剰余金の解消について>

令和4年度も新型コロナウイルス感染症の影響を受けた年度となりました。令和2年度及び令和3年度に発生した、公益事業会計における剰余金(9,437,890円)につきましては、以下の様に解消を進めました。なお、公益法人の監督官庁である三重県との協議において、解消に関しては単年度で急いである必要はなく、必要な公益事業に使用するべきだということで、複数年度での解消を予定しております。

令和4年度の決算におきましては、公益事業会計に剰余金は発生しておらず、残金(3,882,090円)につきましては令和5年度の公益事業で解消を図ります。

◇ 令和4年度における公益事業会計における剰余金の解消状況

番号	適用	予定金額	令和4年度決算額	概要
1	事務局社用車	¥1,500,000	¥1,277,200	12年経過した社用車の買換え
2	風餐亭1F用椅子	¥450,000	¥709,500	老朽化した椅子の交換 30脚
3	風餐亭1F用机	¥320,000		老朽化した机の交換 16脚
4	公益事業費	¥4,530,260	¥3,398,600	公益事業に使用 (事業費総額中負担額1/3)
5	風餐亭防犯カメラ	¥200,000	¥170,500	風餐亭の防犯カメラ
6	残金	¥2,437,630	¥3,882,090	令和5年度の公益事業へ
	計	¥9,437,890	¥5,555,800	令和4年度消費

※令和4年度収支決算(案)に関しましては、次頁以降の「財務諸表」をご覧ください。